

# 大分県の 交流拠点ちやくちやく戦略

平成18年4月6日  
大分県 土木建築部長

せのおただゆき

妹尾 忠幸

# 大分県の長期総合計画

## 九州の高規格道路の現状



大分県長期総合計画

## 安心・活力・発展プラン2005

ともに築こう大分の未来

▶大分県は平成17年9月に長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」を策定・公表

▶この中で、道路ネットワークの整備を「交流拠点ちやくちやく戦略」として位置づけている

- ・ 東九州自動車道など広域交通網の整備推進
- ・ 幹線道路整備による高速ICアクセスの強化
- ・ 地域の生活を支える道づくりの推進
- ・ 都市圏域の交通円滑化の推進

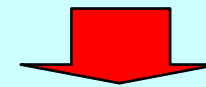
# 大分県の高規格道路ネットワーク

## 東九州自動車道早期実現の署名活動 (日本青年会議所九州地区協議会)



▶九州経済産業局の試算では、東九州自動車道全線整備は年間3兆8千億円の経済効果

- ・日本青年会議所九州地区協議会や経済界が189万人の署名を集める
- ・県内の鉄道は依然単線の状況、高速道路網の発展が県政の最重点課題
- ・大分市内の3次医療施設（県内1箇所）へ緊急輸送
- ・高速道路の沿線では観光客が増加



高速道路の整備は国の責務  
県の政策はほとんどが高速道路の整備が前提

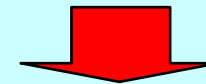
# 高規格道路の波及効果

## 【九州北部に集積する自動車産業】



➤九州北部地域の自動車生産は年間150万台に発展する可能性あり、県境を超えて企業誘致や人材育成・技術開発に取り組む

- ・ 経済界など地域が自主的に整備促進大会を開催
- ・ 大分県が待ちに待った高速道路の整備がやってきた



県としては、用地買収など地元自治体と協力、9年以内での開通を西日本高速道路(株)に期待

# 大分県では、全国で最も早く『女性の会』から 高速道路整備の声があがる

～ 東九州自動車道 新直轄区間（佐伯～宮崎県境）の事例～



- ・ 新鮮な野菜、魚を一刻も早く都会の台所に届けたい
- ・ かけがえのない家族の命を守りたい
- ・ 未来をひらく子供達のために、しっかりとした道を残したい
- ・ 過疎に負けず、自然や文化を守るため、高速道路を1日も早く待っている

参考：県内の「女性の会」活動状況

H16.11 “みちづくりウィメンズトーク”女性の声が「みち」をひらく(東京都)

H16.12 女性が語る東九州自動車道シンポジウム  
(鹿児島県)

H17.1 女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム(東京都)

H17.5 「大分の美知づくり 撫子の会」(県内全体会)発足

H17.11 みちづくりフォーラム女性会議(東京都)

県内10団体(H18.4現在)

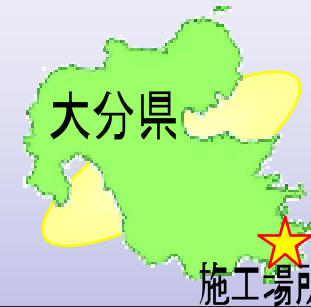
# インターチェンジに接続する道路整備



県がアクセス道路の整備に集中投資するため国の支援も必要(予算の最適配分)

## 佐伯IC接続道路の事例

(主)佐伯津久見線は東九州自動車道津久見IC～(仮称)佐伯ICの開通と大分国体開催(H20)に合わせ平成19年度の全線供用を、国道217号(佐伯弥生バイパス)は平成20年度の部分供用を目標



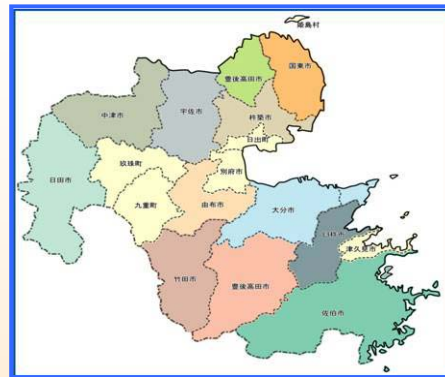
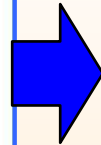
### 位置図等



# 市町村合併を支援する道路整備



**合併前**  
(平成16年12月31日)



**合併後**  
(平成18年4月1日)

**日田市の場合**

新たに合併したE日市において、13箇所(約23km)を事業中  
 うち、集中的に投資する幹線道路は、4箇所(約9km)、この中には、大規模な橋梁やトンネルが含まれる

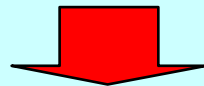
赤：事業中箇所

位置図

- 市町村合併が進行し、58市町村18市町村に再編(H18.4.1)  
 (市町村数、減少率ともに)  
 全国4番目
  
  - 周辺地域との連絡道路の強化が合併新市の最重点課題
- 
- 新市と旧役場の最短ルート<sup>①</sup>の道路整備については、重点投資のため国の支援も必要
- ・その他の道路整備は県が主体となりコツコツと対応
  - ・例えば、1.5車線の道路改良により、コスト縮減や整備スピードのアップを図っている

# だれもが暮らしやすい安全で安心できる道へ

- ▶大分県は台風常襲地帯、頻繁に発生する災害への備えが必要
    - ・異常気象時における事前通行規制区間の解消
    - ・道路防災対策の推進
    - ・代替え道路の確保
    - ・緊急輸送道路の整備
- (昨年の台風14号では県内182箇所が通行止め、このうち35箇所で崩土発生)**
- ▶安全で安心できる道づくりに対する地域の要望は依然大きい



災害が起こる毎に復旧するのではなく、災害に強い道づくりを推進  
県が自主的に整備を進めるため、新しい施策、予算制度を期待



平成17年7月 県西部集中豪雨  
玖珠郡九重町 県道 飯田高原中村線



台風14号:死者1人・行方不明3人

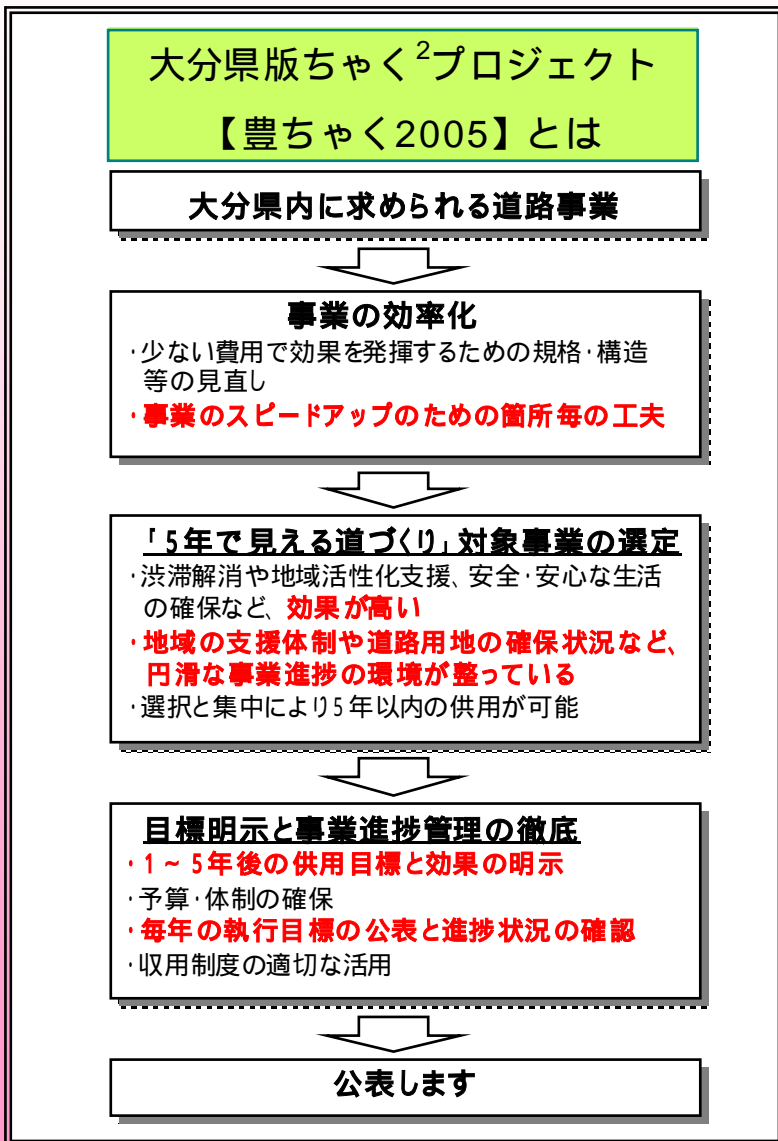
平成17年9月 台風14号  
豊後大野市緒方町 県道 緒方高千穂線



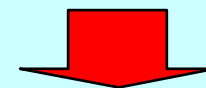
とよ

# 豊ちゃく2005

により供用目標などを公表



➤地域住民はいつまで経っても終わらない道路整備に不満



九州地方整備局の5年で見える道づくり「ちゃくちゃくプロジェクト」を参考に、大分県も【豊ちゃく】プロジェクトを開始

